

美浜町教育委員会との話し合いのまとめ

2021年11月2日(火)16:00～

参加者 教育委員会:山本 敬 教育長/夏目 勉 教育部長 /近藤淳広 学校教育課長/竹内稔博 指導主事
知 教 労:佐田京美/岩澤弘之/榊原賢也

1 正確な在校時間の記録について

組:休憩時間が取れない状況が多々ある現実を、共通認識として、正確な在校時間の把握をしてほしい。

委:多忙化解消が依然進まない学校があるので、休憩をしっかりと取ることが大事だということを学校との共通認識としていきたい。

組:休憩が取れたかどうかも含めて、正しい記録になるよう、しっかりとやってほしい。

委:現場に伝える。

2 残業上限月45時間、年360時間を遵守するための具体的策を出してください。

組 美浜町では今年度から小学校の部活が廃止となり感謝している。中学校の朝部活の廃止についてはいかがか。

委:県のガイドラインに基づき、地域の実情に合わせて校長の判断に任せている。

組:県のガイドラインでは、朝部活は原則やらないという線である。しかも、勤務の上限規定が守られていないという現状にあっては、やめるべきである。

組:中学校の最長下校時刻を17:30にしてほしい。

委:現在は18:00だが、校長の裁量である。今年度はコロナ対応のために実質は早く帰したケースもある。

組:教職員会等、任意団体に対しての出張や仕事を勤務時間内に行なわないようにしてほしい。何かを切っていくのであれば、任意団体の仕事を切るべきである。

組:教頭・教務・校務・主幹の授業時間を増やすことについては、どの市町にも共通して話題にした。

委:職員に何かあった場合、担任を持っている校務以外に教務が対応する場合が実際にあり、教頭も出勤する場合もある。そのような状態を考えると授業数はぎりぎりのところで保っているのが現状である。

組:そのような状況であるならばこそ、任意団体の出張をやめるなどの、校内の人員が確保できるような対策を打ってほしい。

組:作品募集については、かなり学校から離れていったが、読書感想文だけは募集が残っている。一律の宿題にしないなど、対応を求める。選考が必要

ならば、ほかの人を雇って現場の教員をはずしてほしい。

3 校務・教務の異動について特別扱いをしないでください。

組:教務・校務を先に決めるのではなく、他の主任・主事と同様に校内で決めるようにすべきだ。異動者カードの他の教諭と同じ色のものを記入させるように。4月1日に辞令を実際にもらっているのは、それ以前に決定されている証。このような特別扱いをしないよう、知教協に進言してほしい。

委:小規模校では、先に回してもらわないと苦しい。

組:愛知県では教頭になるには、教務・校務の経験が必要となる。教務・校務が他の教諭と違った人事をしていることは情実人事の疑いが生じる。行政の手続きでは、条例に基づいて人事を決めていただきたい。教務・校務は教諭なので、条例通りにやるべきだ。特別扱いする根拠はない。

昨年度、同様のことを知教協に申し入れたが、その後変更するなどの話題に上ったか。

委:知教協の幹事会があるので、そのときにあるのかもしれない。カードを書かせるだけなら、手間ではない。

組:普通の教諭はカードを書き、そのカードに基づいて異動の手続きに入ると思われるが、教務・校務も同様にしてほしい。知教協に話してほしい。

委:わかった。

4 各校にICT支援員・GIGAスクールサポーターを常駐させてください。

組:予算がかかる問題ではあるが、タブレットを一人1台配られた現場では、支援員がいないと困る。国の政策で各市町に丸投げされた現状も分かるが、現場では困っている。

委:GIGAスクール構想については、昨年全ての児童生徒に1台ずつのタブレットを配付することができた。去年は「整備」、今年は「活用」ということで、これまでのICT情報教育の支援員2名に加えて、GIGAスクールサポーターを6名をつけた。今年度は8名体制でやっている。常駐はしていないが、美浜町は8校あるので、必要な時に学校からの要望に応じて派遣できる体制を年度途中から取った。定期的にも巡回しているが、学校のニーズに合わせてすぐに動けるようになっていて、週2回

程度の頻度で出向いている。本年度は年間、小中学校全体で約800時間としている。

組：特に現場からは要求は出ていないか。

委：思った以上に子どもたちも扱いの吸収が早く、得意な先生がリードしている。タブレットの機種を選ぶ段階から、ICT活用部会をつくり、各学校の代表者でどのようにして授業に生かすかを話し合い、学校間の横の連携を取り、校内ではそれを生かして縦の連携を取っている。それに加えて支援員が入って勉強する機会をもつなどしている。ただし、今年度はできているが、来年度も予算がつくとはい保障できないところが、苦しい。

5 再任用ハーフ2人による学級担任はしないでください。

組：美浜町ではこのような事例があったか。

委：ない。

組：今後も、困るという認識でよいか。

委：困る。そのような体制はやめたい。事務所もそうしないと思うが、この先再任用ハーフを使わざるを得ないという可能性は残る。

組：今年度知多管内で、普通学級で一つ、特別支援学級で一つ、その事例があった。普通学級の事例では、校務が担任をしていない状況で再任用2人を充てた。担任がいなかった場合、校務・教務は教諭なので、まずはそこから充てるべき。知教協は苦言を呈してきた。

委：美浜町でも、年度途中の様々な要因から、そのような事態にならざるを得ないのでは、という心配はある。

6 学校訪問の縮小をしてください。

組：指導案のA4サイズ1枚化、特設授業の廃止、通常の日程の中での訪問を検討してほしい。全市町に要求している。「年に一度くらいは」と毎度言われるが、授業の力を磨くのは、学校訪問のときばかりではない。子どもたちの反応が、即自分の授業の善し悪しに返ってくるので、教員は日々毎日が授業への向上へと向き合っている。一人でも倒れては困るという多忙な現場事情の中で、なくても済んでいく仕事をいかに減らしていくことを考えねばならない。知教協に進言してほしい。

知教協では話にも上らないか。

委：ある町がA4一枚にしたときに、それはいいと言う人はいなかった。一つの例としてA4一枚に板書指導をまとめるという方法はよいと思うが、その方が難しいのでは…という話が出たことはある。

組：いろいろな手段はあると思うが、いずれも、勤務時間内に書けるようにしてほしい。通常の業務の

上に指導案を書くので、時間は保障すべきだ。

組：学校訪問での多忙化解消チェックを要項に盛り込むよう知教協に進言してほしい。県教委は、教育委員会が学校訪問の機会を通じて多忙化解消が進んでいるかをチェックすべきだと言っているが、知教協の実施要項にはその視点が抜けている。ぜひ、次年度には着眼点に入れ、学校に行ったら指導するというふうにしてほしい。全ての教育長に伝えている。

組：学校訪問での指導主事の職務は、個々の教師や学校の「評価」をするのではなく、学校・教育の課題について指導・助言をすることである。主事の独善的な行為は慎むべきである。

委：法令・方針に沿って実施していく。

7 全ての特別教室にもエアコンを設置してください。

委：昨年度、小学校1教室(どの教室にするかは学校で選択)、中学校では音楽室と美術室にエアコンをつけた。国のコロナの補助金を活用した。

組：コロナの補助金の活用は他の市町にはない。美術室に設置したのは阿久比町に続き美浜町が二番目である。

8 その他

組：学校再編はどのように進んでいるか。

委：令和4年度に、河和小学校と河和南部小学校の再編をする。安心安全な通学を保障するために、バス2台を町で購入して児童をしっかりと送り届けるように計画している。バス乗り場までの通学の見守り方を関係各者で話し合っている。小中一貫の再編については、当初は7年度からだだったが、コロナの影響もあって、合意形成が遅れ、場所も決定していないので、平成10年度を目標にしている。地区代表、PTA、教育委員会、学校代表等の11人構成で話し合っている。これからも地域に出て、十分な話し合いをていねいにしていく。先生からは早くやってほしいという声がある。

組：学校がなくなると地域の活性化がどうなのかが、住民としては気になるところでもある。

委：十分考えて行く。

委：県は地域の財力を考えて、児童生徒の学習環境が市町同じようになるように、力を出すべきと考えている。

組：格差のない教育予算の充実を求めて、組合も方向は同じ考えである。